<ニュースリリース>

2026 年 1 月 30 日

SCSK 株式会社

CollaboView にフィジカル AI を搭載し、予知保全サービス開始！

～AI を活用した独自の自己学習モデルにより、現場の業務効率化や保全業務を賢くサポートします～

【発表の概要】

CollaboView ファクトリーは工場内に設置されたセンサーやタグから発信されるデータを自動収集し、見える化する事で現場管理者の業務をサポートする IoT ソリューションです。

今回、同ソリューションにフィジカル AI※1 を搭載してベアリング系回転機器・設備※2の振動・周波数を分析し、故障発生の予兆を捉える機能を追加しました。この機能追加により、メーカーの定期保守による不必要な交換や故障発生後の事後対応ではなく、故障発生の手前で対処する「予知保全」を仕組み化することに成功しました。

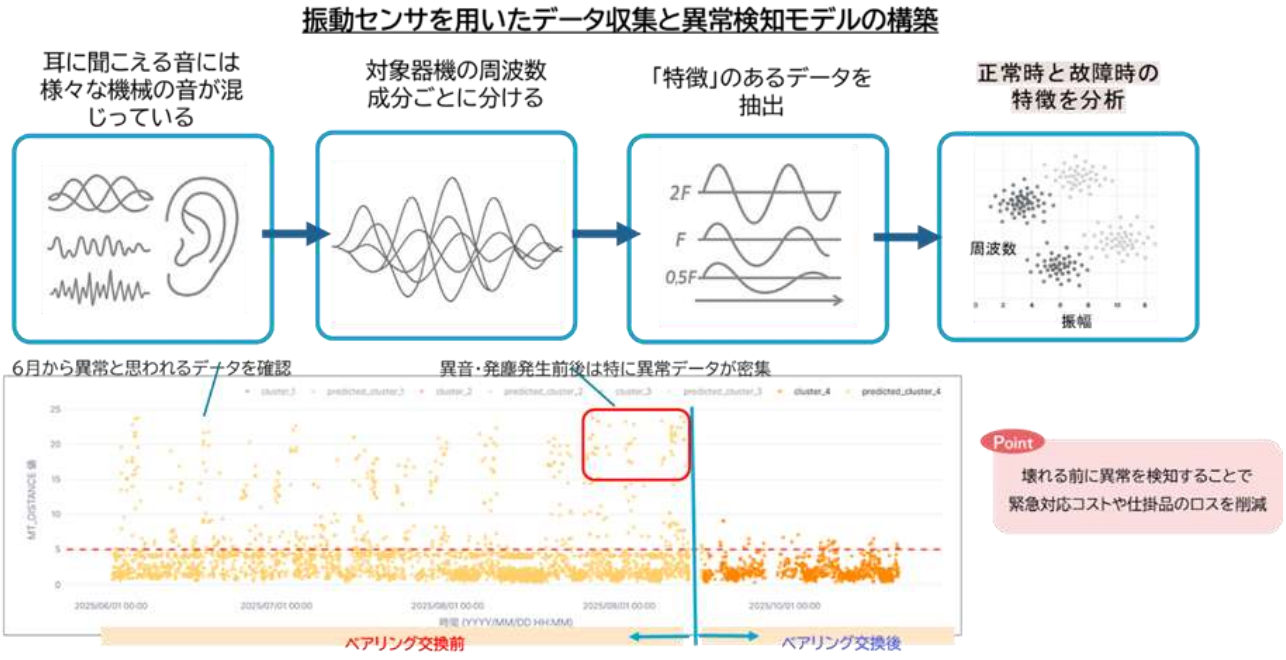
導入に際しては稼働中の機器や設備などに後付けでセンサーを設置でき、個別の機器や設備ごとに監視する事も容易です。

その他、予知保全機能以外にも各種収集データの発生エリアのマップ表示やアラート通知機能など利便性向上も図っており、工場内の業務を賢くサポートします。

※1：現実世界の物理法則や環境（例えば工場内の実環境）に適応して、認識・判断・行動する AI の総称

※2：蒸着機や真空ポンプ、冷却ファン、基板搬送用モータ・ローラなどベアリングを実装した機器・設備全般

【フィジカル AI による予知保全の仕組み】



【CollaboView ファクトリーの特長と追加機能】

主な特長：

・機器設置が簡単で、特別な工事や生産ラインも止めることなく IoT ソリューションを導入可能

・スモールスタートで始めて、徐々に拡張することも可能

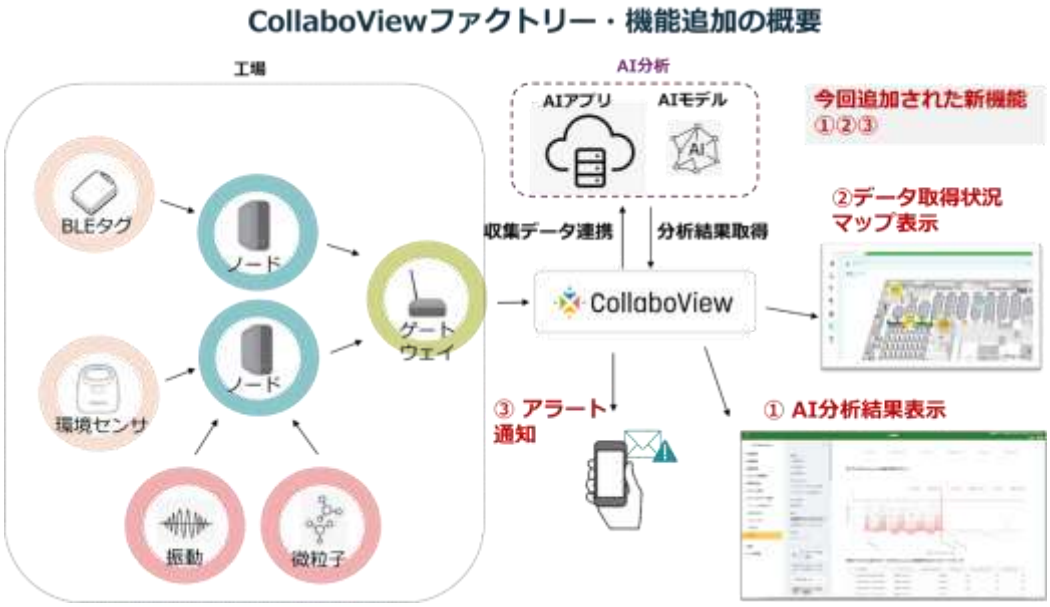
・既存のセンサーや PLC などのデータも API 経由で収集可能

«今回の機能追加»

① AI 分析による、回転系設備（ベアリング）の予知保全化

② 各種データ（温度、湿度、Co2、照度、気圧、騒音、微粒子、振動など）の収集エリアをマップ表示

③ 収集データの異常判定に伴うアラート表示で現場の状態変化を即時に把握可能



【今後の取組み】

今回リリースした CollaboView ファクトリーは、ベアリング系回転機器・設備の保全に課題を抱える製造業を対象にテストユーザーを募りながら更に機能向上を図る計画です。

また、その他の機器・設備分野への機能拡大や新たなソリューション開発も進めており、ものづくりの現場を支援してまいります。

どうぞ、これからの CollaboView ファクトリーの進化にご期待ください。

本件に関するお問い合わせ

SCSK 株式会社　ソリューション事業グループ　CollaboView 推進部

E-Mail：collaboview-info@scsk.jp

※記載の会社名および製品名は弊社の商標もしくは登録商標です。